

# 群馬大学 理工学研究院・生体調節研究所 第17回 生命科学セミナー

共催 群馬大学理工学研究科「化学生物学プロジェクト」  
「内分泌・代謝学」共同利用・共同研究拠点  
概算プロジェクト「生活習慣病の病態解明と分子標的探索」

平成25年8月2日(金)  
生体調節研究所 1階 会議室

15:00～15:15 若手発表1

群馬大学大学院 医学系研究科 博士課程3年（生体調節研究所 細胞調節分野）  
増淵 洋祐 「脂肪細胞分化における甘味受容体の機能」

15:15～15:30 若手発表2

群馬大学大学院 工学研究科 応用化学・生物化学専攻 博士課程3年  
小暮 裕幸 「ミトコンドリアにおける翻訳停滞解消機構の解明」

15:30～16:15 森口 朋尚 先生

群馬大学大学院 理工学研究院 分子科学部門 准教授

「ケイ素導入蛍光色素を用いた蛍光標識化DNAプローブの開発」

ピレンなどの蛍光色素へのケイ素原子の導入は、蛍光波長の長波長化など蛍光特性の変化をもたらすことが知られている。その現象を生体物質の標識に応用するために、ケイ素導入蛍光色素で標識化されたDNAを我々は開発した。本セミナーでは、その蛍光挙動および遺伝子解析プローブへの応用について紹介する。

16:20～17:05 河野 大輔 先生

群馬大学 先端科学研究指導者育成ユニット 助教

「視床下部摂食代謝中枢と肥満」

近年、肥満は増加しており、その背景には環境要因があると考えられている。体重はエネルギーの摂取と消費のバランスを反映しているが、そのバランスを制御しているのは視床下部摂食代謝中枢である。我々は、生体内の環境応答機構のひとつであるエピジェネティクスの視床下部摂食代謝中枢における役割に焦点を当てて研究を進めている。本セミナーでは、得られた知見の一部を紹介したい。

セミナー終了後、懇親会を予定しておりますので、こちらにも是非ご参加ください。

会費： 2,000円

担当： 徳永 (ftokunaga@gunma-u.ac.jp)